

2021年1月22日

コンテンツ制作フローの構築と運用に関わるみなさまへ
クラウド基盤を活用した運用フロー提案と活用事例をご紹介
「フォトロン クラウド制作&管理フロー ウェビナー」
を2月5日（金）に開催



放送/映像関連機器の開発・製造・販売・輸出入を手掛ける、株式会社フォトロン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 瀧水隆）は、2021年2月5日（金）、コンテンツ制作フローの構築と運用に関わるみなさまへ、クラウド基盤を活用した運用フローの提案と活用事例をご紹介する『フォトロン クラウド制作&管理フロー ウェビナー』を開催します。

映像制作のファイルベース化・ネットワーク化が進むに伴い、複数拠点を往来して制作をおこなう機会が増加しており、HDDやNASなどの物理メディアを使わないクラウド基盤を活用したマスター保管が注目されています。

フォトロンでは、これらの業務に対応した新たなコンテンツ制作&管理フロー向けサービスとして2020年末より「Pharos（ファロス）」の提供を開始し、既に様々な分野のお客様にご活用いただいています。

本ウェビナーでは、クラウド基盤を活用した制作&管理フローをご提案するとともに、ニーズに応えた様々な機能を、「Pharos」導入企業様の活用事例を交えてご紹介します。既に他のクラウドサービスをご導入済みの方にも、さらなる業務効率化やリモートワーク実現に向けた内容をご提案します。

開催概要

- 日時 : 2021年2月5日(金) 16:00-17:00
- 参加費 : 無料(要事前申込)
- 申込 : <https://www.photron-digix.jp/info/2021/101539.html>
- アジェンダ:

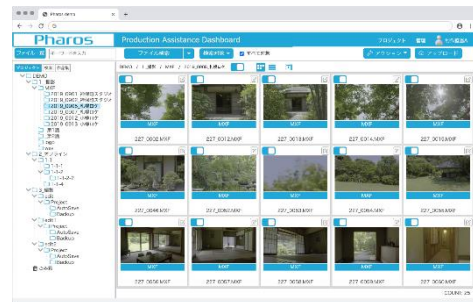
- ◇ クラウド制作フロー支援サービス「Pharos」のご紹介
- ◇ ストレージとアーカイブ利用の使い分け
- ◇ 大量の動画ファイルをアップロード
- ◇ マスター保管とメタデータの管理
- ◇ ファイル同一性の重要性
- ◇ 運用フローの自動化サービス「Media Automata」との連携

※ 本セミナーは、Webセミナー(ウェビナー)です。インターネットに接続できるPC、もしくはスマートフォン・タブレット端末があれば、どこからでも気軽にご参加いただけます。

クラウド制作フロー支援サービス「Pharos」とは

「Pharos」は、クラウド基盤を活用した映像制作や各種ワークフローと連携したファイル管理が行える制作フロー支援サービスです。

動画ファイル等をクラウド環境にアップロードし、メタデータの登録や検索、ファイル送受信、ファイル変換をはじめとする各種ワークフローを統合管理し、映像制作フローのクラウド活用をサポートします。



▼サービス詳細

https://www.photron-digix.jp/product/photron_pharos/

【株式会社フォトロンについて】

本社: 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング 21階
 代表者: 代表取締役社長 瀧水 隆
 創業: 1968年7月10日
 資本金: 1億円
 事業内容: イマジカグループ企業、放送用映像機器、民生用および産業用電子応用システム(CAD関連ソフトウェア、ハイスピードカメラ・画像処理システム、その他)の開発、製造、販売、輸出入
 URL: <https://www.photron-digix.jp/>

本リリース掲載の会社、商品、システム等の名称は、各社の商標または登録商標です。

【報道関係窓口】 株式会社フォトロン コーポレートコミュニケーション部 二方加奈子

TEL: 03-3518-6276 FAX: 03-3518-6279 E-Mail: futakata@photron.co.jp

【お問い合わせ窓口】 株式会社フォトロン 映像システム事業本部

TEL: 03-3518-6273 FAX: 03-3518-6279 E-Mail: sales@photron.co.jp